

# 児童の姿から 協働的に学ぶ教職員集団づくり

—検証の視点を焦点化した校内授業研修会における取組改善を通して—

# 校内授業研究の中心【アイテム】

【自分にも】

【対比】

見方・考え方を働かせるために必要な  
知識・技能

## 以前の振り返りでは…

たくさんの  
学び

これからの授業づくりに  
生かせる内容について  
たくさんのことを学ぶこと  
ができてよかった。 



様々な学年や教科の  
個別最適な学びの場や方法を  
具体的に知りたい。

アイテムを実際の授業の  
どこで取り入れていいのか  
悩んでいる。

悩み



より多くの具体的な  
手立てや方法を学び授業力を  
高めていくことが必要

# 1月の校内授業研修会の振り返りでは…



感想を書く際のヒントになっている様子も見られたので、獲得したアイテムを子供の見えやすいところに掲示等をして  
**活用していきたい**と感じました。

明日の授業に生かせる  
具体的な学び

自分の経験と本文を読み比べている  
**児童の様子**が見られました。

考えを説明させるためには、  
**良いモデルや**  
**話型を示すなど、**  
**いろいろな工夫**  
をしないとなかなか説明する力は付かない。



## 「新たな教師の学びの姿」

子供たちの学び（授業観・学習観）とともに教師自身の学び（研修観）を転換し、「新たな教師の学びの姿」（個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じた、「主体的・対話的で深い学び」）を実現

変化を前向きに受け止め  
探究心をもちつつ  
自律的に学ぶこと

個別最適な学びのみならず  
協働的な学びを  
実現していくこと

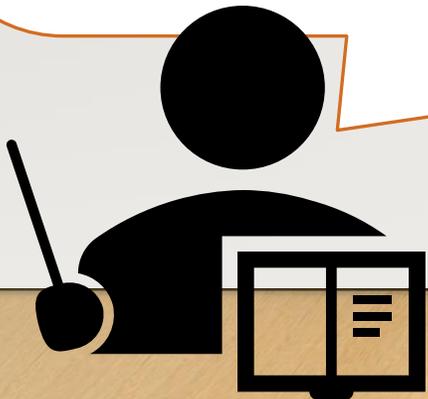
教職員が協働して  
学び続けることは重要

# 児童の姿から協働的に学ぶ 教職員集団づくり

検証の視点を焦点化した  
校内授業研修会における取組改善を通して

## 児童の姿から学ぶとは…

多様な子どもたちの思考過程を理解し、つまずきやとまどいのプロセスを子ども視点から見直すことで教師は学んでいくこと、また教材を介した子ども同士の思考の交わりから子どもの学習がどのように進み深まるのかを捉え、教材解釈を深めていく過程が教師の学びの過程になっている



# 児童の姿から学ぶとは…



授業における悩み

児童の姿を基に  
考える

具体的な手立て

解決へ



## 協働的に学ぶとは…

同じ授業を参観していても、参観者の実力には差があるかもしれない。しかし、そうした異なる視点からの授業分析を生かしてこそ、より豊かな知が生成される。



# 協働的に学ぶとは…

教職員  
数

専科

経験  
年数

教科  
担任制

四部会

多様な  
教職員集団

多様な  
指導の工夫

互いの  
授業力を  
高め合える



## 検証の視点を焦点化するとは…

授業中の一つの場面に  
焦点を当てることで、

多様な解釈が出され、子どもの  
学びや教師の手立てについてよ  
り重層的に深められることがで  
きるようになる

授業の願いや意図が  
受け止められ、

具体的な子どもの姿を根拠に  
改善策が提案される場合は、

授業者は自らの自律性が  
支えられたと感じる

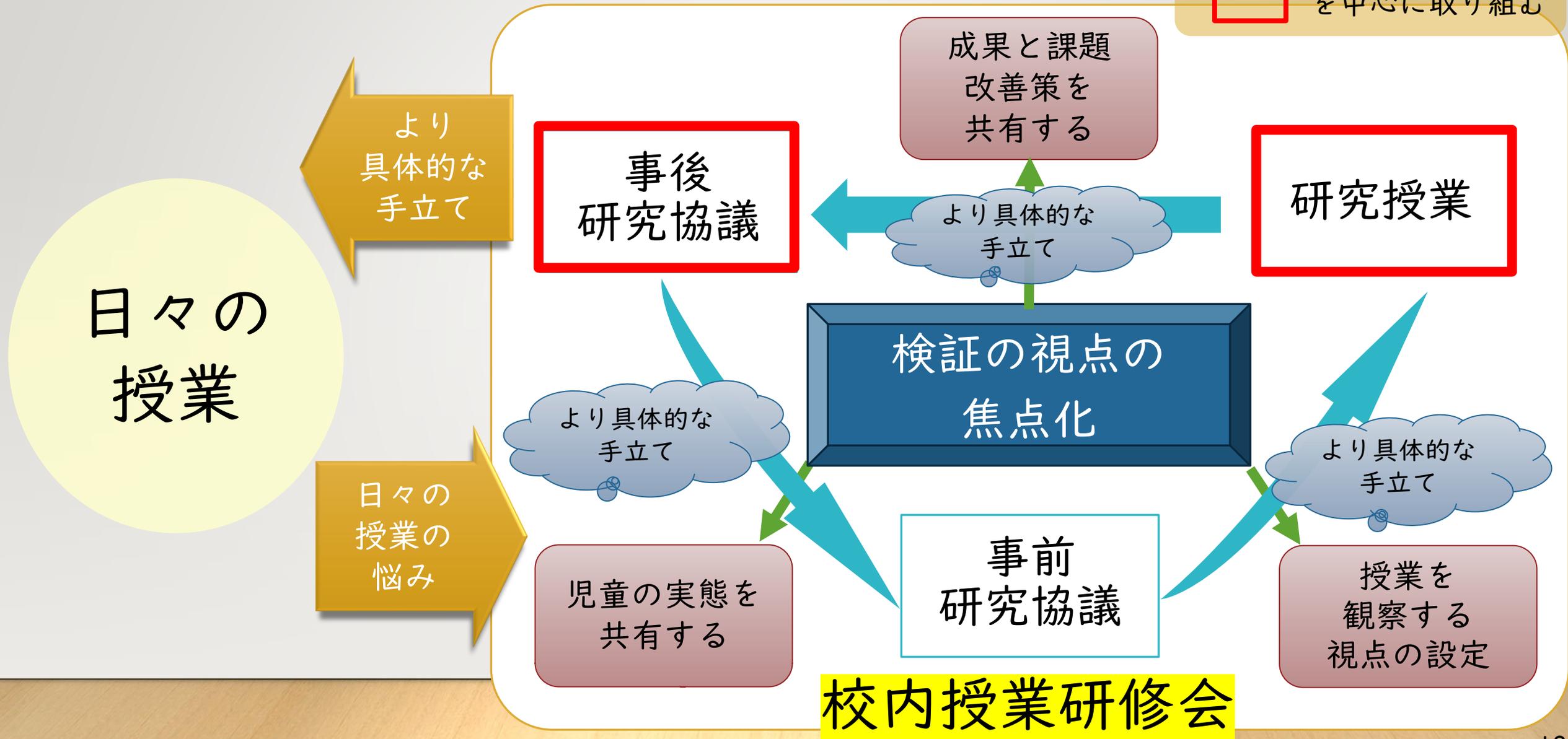


## 検証の視点を焦点化するには…



# 検証の視点を焦点化した校内授業研修会とは…

※本研究では  
[ ] を中心に取り組む



# 研究授業では…

## 「授業観察シート」の活用

# 児童の姿を見取る

【本時のねらい】人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている					授業者 ○○先生 ○年○組
【検証すること】☆学び方の選択 (①すべての戸 ②ヒントあり) ☆学ぶ場を選択 (A一人 B友達と Cヒント)					
1	6	11	16	21	
◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	
2	7	12	17		
◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △		
3	8	13	18	23	28
◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △
		14	19	24	29
		◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △
		15	20	25	30
		◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △
		33	34	35	36
		◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △

本時のねらい

焦点化した検証の視点

学年群で  
観察児童を分担



# 事後研究協議では…

①検証の視点の確認【事実】

**焦点化された検証の視点**

検証の視点

**「授業観察シート」の活用**

②授業者からの説明【思い・意図】

③グループ・全体協議【解釈の交流】

成果

課題

改善策

具体的な  
成果課題  
改善策

日々の  
授業実践  
へ

④まとめ【日々の授業実践への活用】

# 本時のねらいと焦点化した検証の視点

授業内容	
第4学年 国語科「世界一美しいぼくの村」 ～考えたことを文章にまとめよう～	
本時のねらい	
物語を読んで感じたことや考えたことを文章にまとめ、友達と伝え合うことができる。	

## 所属校の校内授業研修会における焦点化した検証の視点

視点1	<b>【学び方の選択】</b> 獲得したアイテムを選んで使う ・活用したアイテムを提示することで、感想を書く際のヒントにする。 <b>【学ぶ場の選択】</b> ①一人で ②ヒントゾーンで ・ヒントゾーンにはアイテムを活用した感想例(既習の物語)を掲示する。
視点2	本時のねらいは達成されたか。

授業者の  
願いや  
意図



検証の視点の  
焦点化



具体的な  
協議

# グループ協議の様子から…



獲得した【アイテム】を使う



授業者の  
願いや意図



検証の視点の  
焦点化



具体的な  
協議

児童の名前を挙げ、  
検証の視点について具体的に協議

- ① A児は、アイテム【自分だったら】を使って「僕だったらたえられない」、だから「ヤモはかわいそうすぎる」と感想に書いていた。B児は、「私だったら6場面は書かない」とも書いていたよ。  
【自分だったら】というアイテムがよかった。

- ② 私が見ていたC児も【自分だったら】を使っていた。

- ③ 考えを書く時には  
アイテムの手立てがよかったよね。  
でも、今日はそれ（考え）をもって交流するのがねらいなんだよね。  
D児は、すごく感想を書いていて。でも、友だちと考えを交流する時には、ノートに友だちの考えを書いて終わっていた。他の子も…



# グループ協議の様子から…



獲得した【アイテム】を使う



授業者の  
願いや意図



検証の視点の  
焦点化

検証の視点のズレへの気付き



具体的な  
協議

① 今日の目標は共有 だからね。

交流しなきゃいけない。  
何をもって同じ？違う？  
がわからないから、結局同じアイテム  
を使ったか使っていないかになる。



② E児とF児は「同じだね」って  
言いながら、ノートに印を  
付け合っていた。

③ そうそう。F児はアイテムが  
一緒かどうかばかりだった。

④ 考えを書くときにアイテムを  
強調しているから、  
引っ張られすぎているのだね。

⑤ どうやったら修正できるのかな。

# グループ協議の様子から…



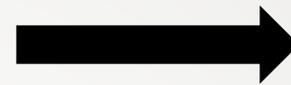
獲得した【アイテム】を使う



授業者の  
願いや意図



検証の視点の  
焦点化



具体的な  
協議

代案の検討

① アイテムをしぼって  
考えさせるとか？

② それもいいね。とにかく感想の中身の  
違いについて気付いてほしいよね。



③ 交流をするときの視点を  
どう指示するかな。  
代表に言わせた時、（授業者が）  
アイテムに引っ張ってしまった。  
強調されてしまった。

④ 交流した後に、自分の考えじゃなくて、  
友だちの考えを発表させても  
よかったかな。

# グループ協議の様子から…



獲得した【アイテム】を使う



授業者の  
願いや意図



検証の視点の  
焦点化

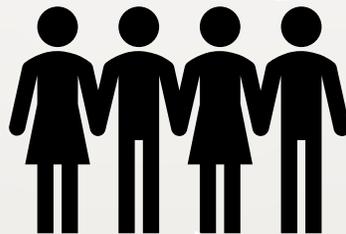


代案の検討

具体的な  
協議

⑤ 「友だちの考えでなるほどって思った  
考えある？」みたいな。

⑦ ただ時間が足りないね…。



⑥ A児の「作者は何で…」みたいに、  
自分とは違う感想の  
中身に気付けるかもね。

⑧ 2時間で取り組みたい内容だね。

# 全体交流の様子から…



獲得した【アイテム】を使う



授業者の  
願いや意図



検証の視点の  
焦点化



具体的な協議

## 【アイテム】を活用

することは、考えの形成の際に有効であった。

成果

## 教科書を確認する 児童やワークシートの 挿絵を振り返る児童が

いた。学ぶ場でグループを設定していなかったが、一人でも学べる環境はできていた。

感想の交流の場で

「どの【アイテム】を使ったか」

についての共通点や相違点を見付ける

児童が多かった。

課題

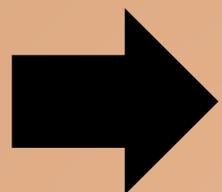
交流する前に、感じ方についての共通点や相違点を見付けられるようにデモンストレーションを取り入れる。  
(捉え方の例示)

改善策

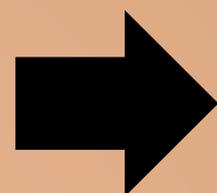
交流の仕方の工夫  
(ICTの活用、話型)

「考えの形成」と  
「考えを広げる」の学習は  
次時で行う。

 授業者の  
願いや意図



検証の視点の  
焦点化 

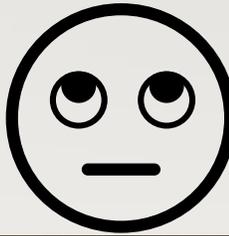


具体的な  
協議



 児童の姿から協働的に学ぶ  
教職員集団

先生方はどう  
感じたのかな??



# アンケート結果から

肯定的

## 取組後のアンケートの結果 (n = 25)

	大変 よかった	まあまあ よかった	あまり よくなかった	よくなかった
検証の視点を焦点化して授業を参観してみteどうでしたか。	19	6	0	0
今回の研究授業及び事後研究協議の進め方はどうでしたか。	19	6	0	0

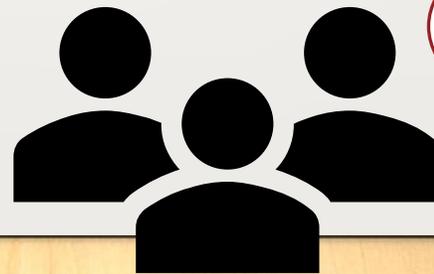
## 校内授業研修会の感想から（授業参観者）

子供一人一人に対して  
具体的な姿を  
見取ることができる。

自分が見ていなかった児童の様子も  
わかるため、  
事後協議の内容が深まると  
感じた。

話し合う内容が明確で  
意見を出しやすかった。

肯定的



## 校内授業研修会の感想から（授業者）

その視点（自分の意図した部分）を中心に  
どうだったか、またどのような改善点があったかを  
知ることができたのでよかった。

課題からたくさんの  
改善策が出てきて  
楽しかった。

ノートやワークシートの使い方について考えながら  
授業準備をしていく。



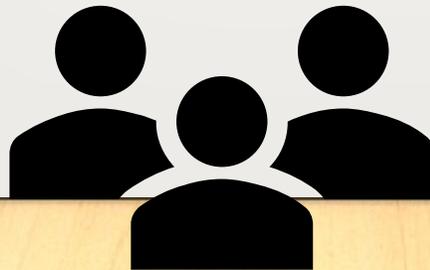
授業者の  
願いや  
意図

## 校内授業研修会の振り返りから（授業参観者）

グループ活動で分かれてしまったため、個人を見取ることが難しい。

教職員間での評価の「捉え」については誤差がある。

課題



# 成果と課題



より具体的な  
成果や課題、改善策  
を見いだす

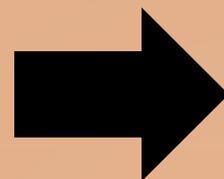
当事者意識を  
もちにくい

多様な考えを交流し  
教職員が  
協働的に学ぶ

日々の授業改善に  
つなげることが  
難しい

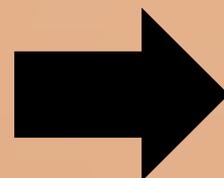
# 改善策と今後の方向性

当事者意識を  
もちにくい



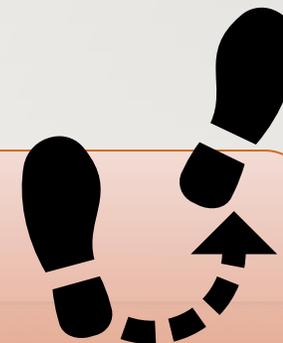
事前研究協議の流れの検討

日々の授業改善に  
つなげることが  
難しい



対話の場を仕組む  
ICTの活用  
通信等で周知

他部会の取組等につなげる



時間の大切さ



相談し合える関係の構築

取組の価値やよさの実感



# 研究推進のための連携

時間の大切さ



## ①校内授業研修会の取組改善に関わる事前連携

時期	対象	内容
9月下旬	校長	【ねらい】取組の内容について視点をしぼる 【内容】 ・所属校の実態について ・校内授業研修への校長の願い ・取組の方向性について
	研究主任	【ねらい】取組の方向性を共有する 【内容】 ・取組の方向性についての説明 ・実現可能かどうか (所属校の実態を踏まえて)
	教務主任	【ねらい】取組の方向性を共有する 【内容】 ・取組の方向性についての説明 ・実現可能かどうか(日程の面において)
	研究主任	【ねらい】取組の内容について協議し決定する 【内容】 ・前回の協議を踏まえた修正点の確認→決定 ・研究部の動きについて ・「授業観察シート」について
	教務主任	【ねらい】取組の内容について協議し決定する 【内容】 ・前回の協議を踏まえた修正点の確認→決定 ・今後の日程について ・「授業観察シート」について
10月上旬	校長 教頭	【ねらい】取組の内容について説明し、共有する 【内容】 ・取組の内容についての説明
	各部担当 専科 特支	【ねらい】取組の内容について説明し、共有する 【内容】 ・取組の内容についての説明、質疑応答 ・取組についての協力要請
	各部担当 国語 算数	【ねらい】取組の内容について説明し、共有する 【内容】 ・取組の内容についての説明、質疑応答 ・取組についての協力要請

主に取組の方向性内容についての協議と決定

取組の具体的内容と担当者との共有

## ②校内授業研修会の取組改善に関わる事前準備

時期	内容
10月上旬	【校内授業研修会における取組の提案、説明の準備】 ・全教職員への取組提案に向けた説明資料の作成 ・研究主任等に意見を基に加筆修正
10月中旬	【「授業観察シート」の試用及び修正①】 ・研究授業で「授業観察シート」を試用(筆者) ・不具合における授業観察シートの修正
	【「授業観察シート」の試用及び修正②】 ・研究授業で「授業観察シート」を試用(特支) ・感想、意見を基に「授業観察シート」を修正

説明資料「授業観察シート」の作成

全体像を見据え、短時間で複数回の連携

校長  
教頭

教務  
主任

研究  
主任

各部  
担当者

# 校内授業研修会における取組計画



相談し合える関係の構築

日	取組内容		
10/29	校内授業研修会における取組の提案、説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組のねらい</li> <li>・取組の具体的な内容</li> </ul>		
時期	教科	形態	取組内容
10/30	音楽科	全体	検証の視点を焦点化した取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・事後研究協議</li> <li>★事後アンケートによる振り返り</li> </ul>
1 / 29	国語科 算数科	各部内	検証の視点を焦点化した取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察</li> <li>・事後研究協議</li> <li>★事後アンケートによる振り返り</li> </ul>

校内事情により  
変更



# 取組計画の変更（10月30日）



相談し合える関係の構築

	日	教科	形態	取組内容
変更前	10/30	音楽科	全体	<b>【校内授業研修会】</b> ・研究授業 ・事後研究協議 ★事後アンケート(振り返り)
	11/8	音楽科	任意参加	<b>【視点を焦点化した授業参観】</b> ・「授業観察シート」を活用した授業観察 ・Googleスプレッドシートを基に授業の振り返り(授業者と筆者) ★授業参観者へインタビュー
変更後	11/12	国語科	国語科 部会	
	11/18	算数科	算数科 部会	

変更後



# 1月29日校内授業研修会に向けて

取組の価値やよさの実感



授業内容

事前研究協議で  
評価基準の検討

物語の...  
とができる。

所属校の校内授業研修会における焦点化した検証の視点

視点1

【学び方の選択】

獲得したアイテムを選んで使う

- ・活用したアイテムを提示することで、感想を書く際のヒントにする。

【学ぶ場の選択】

①一人で ②ヒントゾーンで

- ・ヒントゾーンにはアイテムを活用した感想例(既習の物語)を掲示する。

視点2

本時のねらいは達成されたか。

【本時のねらい】 物語を読んで感じたことや考えたことを文章にまとめ、友達と伝え合うことができる。			授業者 ○○先生 4年○組教室
【検証すること】 ☆学び方の選択 獲得したアイテム【会話文・行動・題名・比較・さし絵・性格・様子・対比・自分だったら・他の物語・経験をもとに・物語の終わり方】 ※アイテムの選択によって、一人一人の感じ方の違いに気付きやすくなる			
★学ぶ場の選択 ①一人で ②ヒントゾーンで ※既習の物語の感想の書き方の例			
【評価基準】	A 共通点や違いに気付き、ノートにまとめて	B 共通点や違いのどちらかに気付き、ノートにまとめている。	C 共通点や違いに気付くことができていない。

黒板					
1 A B C	6 A B C	11 A B C	16 A B C	21 A B C	26 A B C
2 A B C	7 A B C	12 A B C	17	22 A B C	27 A B C
3 A B C					
4 A B C					

「授業観察シート」  
に明記

教職員からの  
多様な意見を受けて改善

## 参考・引用文献

### ○中央教育審議会（令和4年）

「「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～（答申）」p.22

### ○秋田喜代美（2017）

「岩波講座 教育 変革への展望5 学びとカリキュラム」岩波書店p.71

### ○田村学（2017）

「第3部授業研究に期待する第9章「授業研究」の質的転換—「学校の学び」の観点から—」鹿毛雅治・藤本和久編著「「授業研究」を創る—教師が学びあう学校を実現するために—」教育出版p.147

### ○大島崇（2017）

「第1部授業研究を問う第3章教師は授業研究をどう経験するのか」鹿毛雅治・藤本和久編著「「授業研究」を創る—教師が学びあう学校を実現するために—」教育出版p.66

### ○田村学（2018）

「深い学び」東洋館出版社p.238